



# にこにこ通信第203号

2011/2/20

〒933-0804 高岡市問屋町 40 (有) 沖商店

沖 昌弘

TEL 0766-25-2525(にこにこ)

E-mail

FAX 0766-26-5500(ふるへごー)

oki2525@oki-shouten.com

謹啓 毎度格別のご最頁に預り厚く  
お礼申し上げます。

本通信は、皆様のご意見を頂いて私の  
人生修行の糧といたしたく、ひと月に  
一度お届けしています。どうぞ、忌  
憚の無いご意見をお寄せくださいま  
すようお願い申し上げます。 謹白。

## 一、女・子供に白い歯見すんな

先日、家庭の在り様で話し合った時、  
私が「女・子供に白い歯見すんなと言  
われて育った」と言った処「それはど  
んな意味ですか」と質問されました。  
これは私の年配（昭和17年生まれ）  
の男なら生まれた時から聞かされた言  
葉です。即ち、男子たる者、家長とし  
ての威厳を保ち、家に帰っても愛しい  
妻や子供に優しい笑顔を見せないでし  
かめっ面していなさい、可笑しいこと  
や嬉しいことがあっても、がまんして  
口を結んでいなさいと、言うわけです。  
「三つ子の魂、百まで」と言いますが、  
おかげで我が家は現代の一般家庭より  
妻にも子供にも寂しい思いをさせたと思  
っています。でも、これは子育てを  
する上でとても勝れたシステムだっ  
たと思っっています。父親が親ばかにな  
って子供を溺愛する行動を制限されるデ  
メリットがあります。子供の躰けには  
とても役に立ったのです。父親は割に

あわない恐れられ役、母親はそれを利  
用してちゃっかり躰をした上、慰め役  
に廻り「母はやさしい者」というイメ  
ージを子供に与え、言うなれば得な役  
を演じていました。そして祖父母や叔  
父叔母など同居する大家族制度ととも  
に、隣組など近所・隣の社会全体がこ  
の体制を是認していました。そしてこ  
んな中で教育てられた子供は皆、精神  
のしっかりした成人になれたのです。  
今は死語になった「地震・雷・火事・  
親父」と言う恐ろしいものの喩えの通  
り、世の中の男は、どんなにやさしい  
男でも甲斐性のない男でも馬鹿でも  
「男というものは、強い者・恐ろしい  
者」と祀り上げられ威厳を持たされ父  
親の悪役をやらされたのです。

今は、そんな善い舞台もマッカーサ  
ーと日教組に壊され、「何故」「何の為  
に」と言うことが影薄くなっています。  
「何故勉強するか」「何故結婚するか」  
「何の為に子供を産むか」「子供を如何  
様に育てるか」「何故政治家を目指す  
か」……「何故、何の為に生きるか」。  
今、はっきりした目的意識を持つてこ  
んなことを考えている方は大勢いらっ  
しゃいませぬ。子供は尚更です。目的  
意識なく学校へ通い、進路選びも成行  
き任せで、自主性が感じられません。

昔の善き舞台では比較的的と意向  
は、はっきりしていました。「勉強は学  
識を深め社会のお役に立つ為」。「勉強  
嫌いで学問の出来が悪い自分は、専門  
技術を身につけそれで社会のお役に立  
ち自分の生業とする」。「結婚は人とし  
て社会組織の最小単位である家庭を営  
む為」。「子供を産むのは、先祖から連  
綿と続いて来た命(DNA)を自分の  
代で絶やさない為」。「子供は将来何に  
なるかと、社会の役に立つよう考え方  
(精神)がしっかりした者に育てたい。  
間違っても他人の迷惑になるような者  
に育ててはいけない」。(40〜50年  
前・当社に入社の親の言葉)うちの娘、  
間におうとりますけいうちの娘、役立  
っているでしょうか)

「政治家は天下国家の為、命を掛けて  
働くべきであり、その様な崇高・誇り  
高い仕事をしたから政治家を目指  
す」。(明治時代から戦前までの政治家  
は、その行動の正否は別にして命を掛  
けて務めました)責任を感じて自殺し  
た人もいます。今、日本には国家のこ  
とを思っ命懸で働いている政治家は  
いません。政治家の支援団体は皆本人  
と取巻き連中のための営利団体です  
「人は何の為に生きるか」については  
次号に委ねましょう。